

ペインクリニック専門医 臨床研修指導マニュアル

有限責任中間法人日本ペインクリニック学会

(ペインクリニック専門医認定委員会 編) 2008年1月12日改定

21 世紀のペインクリニック

有限責任中間法人日本ペインクリニック学会
ペインクリニック専門医認定委員会
2006 年度委員長 北島敏光

1969 年、第 1 回ペインクリニック研究会が山村秀夫会長の下に東京で開催された。当時は、麻酔科医のモチベーションを高めるためにペインクリニック外来が開設され、麻酔に用いられる神経ブロックを主体とした治療法が行われた。1985 年に開催された第 19 回大会から学会に発展し、神経ブロックばかりでなく、薬物療法、理学療法、外科的療法など、包括的な治療法が行われるようになった。また、麻酔科医ばかりでなく他科の先生方も日本ペインクリニック学会の会員となり、現在では 4,000 名を超える会員数となっている。2006 年 9 月、日本ペインクリニック学会は有限責任中間法人となり、日本専門医認定制機構基本診療科の専門医の資格を有し、その研修期間中またはその後に日本ペインクリニック学会指定研修施設で 1 年以上ペインクリニックに関する研修を行ない、専門医認定委員会の審査と試験に合格した者は専門医として標榜できるようになった。

このように、21 世紀はわが国のペインクリニックが大いに発展する時期であり、痛みで苦しむ患者にとって多大な恩恵をもたらすであろうことが期待される。有限責任中間法人日本ペインクリニック学会の果たす役割は大きく、また責任も甚大である。臨床研修指導マニュアルは、学会指定研修施設の専門医と専門医を目指す医師に対して作成された。日本ペインクリニック学会専門医はマニュアルに沿って指導していただき、多くの仲間が誕生することを期待したい。

ペインクリニック専門医臨床研修指導マニュアル
有限責任中間法人日本ペインクリニック学会
(ペインクリニック専門医認定委員会 編)

1. 研修カリキュラム，到達目標

日本ペインクリニック学会では，以下の専門医到達目標を掲げ，研修カリキュラムを充実させることによって，単に痛みの患者を診るのではなく，全人的，包括的な診療のできる専門医の養成をめざす。

- ① 疼痛の基本的知識
- ② 疼痛疾患の診断
- ③ 急性痛・慢性痛の治療
- ④ 非疼痛疾患の治療
- ⑤ 神経ブロックの実践
- ⑥ 薬物療法の実践
- ⑦ 理学療法の実践
- ⑧ インターベンショナル（刺激療法・エピソードラスコピー）療法の実践

【到達目標】

本カリキュラムは研修内容の一つの基準であり，ペインクリニックを指導する専門医（指導医）は以下の到達目標を参考にして評価する。

A：理解，経験あるいは実践する必要がある

B：理解，経験あるいは実践することが望ましい

【評価基準】

「痛みの基礎」，「疼痛疾患の診断法」の項は専門医を目指す医師（研修医）の自己評価と，指導医の評価を加える。

a：十分に理解できた，または臨床に実践できる

b：理解した，または臨床にある程度実践できる

c：理解できなかった，または臨床で実践できるまでに至らない

「対象疾患」,「神経ブロック」,「薬物療法」,「理学療法」,「インターベンシヨナル療法」の項では,研修医は経験あるいは実践した症例数を記載し,指導医は研修医の記載した症例数が正しければ○,誤っている場合は×をつける。

1) 痛みの基礎	到達レベル	自己評価	指導医評価
(1) 痛みの定義	(A)	()	()
(2) 痛みの伝達機構 (発痛物質, 痛覚伝導路, 下行性疼痛抑制系)	(A)	()	()
(3) 痛みの調節機構	(A)	()	()
(4) 痛みの評価法	(A)	()	()
(5) 痛みに関する用語 (急性痛, 慢性痛, 関連痛, アロディニア, CRPS など)	(A)	()	()

2) 疼痛疾患の診断法	到達レベル	自己評価	指導医評価
(1) 問診	(A)	()	()
(2) 理学的検査	(A)	()	()
(3) 画像診断	(A)	()	()

3) 対象疾患	到達レベル	症例数	指導医判定
A. 疼痛疾患			
(1) 片頭痛	(A)	()	()
(2) 群発頭痛	(B)	()	()
(3) 緊張型頭痛	(A)	()	()
(4) 三叉神経痛	(A)	()	()
(5) 舌咽神経痛	(B)	()	()
(6) Tolosa-Hunt 症候群	(B)	()	()

(7) 顎関節症	(A)	()	()
(8) 後頭神経痛	(A)	()	()
(9) 非定型顔面痛	(B)	()	()
(10) 症候性三叉神経痛	(B)	()	()
(11) 頸椎椎間板ヘルニア	(B)	()	()
(12) 頸椎症	(A)	()	()
(13) 頸椎症性神経根症	(B)	()	()
(14) 外傷性頸部症候群	(A)	()	()
(15) 胸郭出口症候群	(B)	()	()
(16) 胸椎椎間板ヘルニア	(B)	()	()
(17) 頸肩腕症候群	(B)	()	()
(18) 肩関節周囲炎	(A)	()	()
(19) 肋間神経痛	(A)	()	()
(20) 腰椎椎間板ヘルニア	(A)	()	()
(21) 腰部脊柱管狭窄症	(A)	()	()
(22) 腰椎椎間関節症	(A)	()	()
(23) 腰椎すべり症	(A)	()	()
(24) 腰椎疾患	(A)	()	()
(25) 変形性腰椎症	(A)	()	()
(26) 根性坐骨神経痛	(A)	()	()
(27) 筋筋膜性腰痛症	(A)	()	()
(28) 膝関節症	(A)	()	()
(29) 変形性脊椎症など	(A)	()	()
(30) がん性疼痛	(A)	()	()
(31) 術後痛（術後管理は除く）	(A)	()	()
(32) 術後疼痛症候群	(A)	()	()
(34) 中枢痛	(B)	()	()
(35) 幻肢痛	(B)	()	()
(36) 腕神経引き抜き症候群	(B)	()	()

(37) 複合性局所疼痛症候群 (CRPS type 1, type 2)	(A)	()	()
(38) 帯状疱疹	(A)	()	()
(39) 帯状疱疹後神経痛	(A)	()	()
(40) 糖尿病性神経障害	(B)	()	()
(41) 閉塞性動脈硬化症	(B)	()	()
(42) バージャー病	(B)	()	()
(43) レイノー病, レイノー症候群	(B)	()	()
(44) 筋筋膜性疼痛症候群	(A)	()	()
(45) 脳脊髄液減少症	(B)	()	()
(46) 急性・慢性膵炎	(B)	()	()
(47) 尿路結石症	(B)	()	()
(48) 会陰部痛	(B)	()	()
(49) 肋軟骨炎	(B)	()	()
(50) 関節リウマチ	(B)	()	()
(51) 肩腱板損傷	(B)	()	()
(52) 手掌足蹠多汗症	(B)	()	()
(53) 下肢痛	(A)	()	()
(54) 頸椎捻挫	(A)	()	()
(55) 胸椎圧迫骨折	(A)	()	()
(56) 有痛性下肢筋攣縮	(B)	()	()
(57) その他			

B. 非疼痛疾患	到達レベル	症例数	指導医判定
(1) 顔面神経麻痺	(A)	()	()
(2) 顔面痙攣	(B)	()	()
(3) 突発性難聴	(B)	()	()
(4) アレルギー性鼻炎	(B)	()	()
(5) 網膜色素変性症	(B)	()	()

- (6) 網膜血管閉塞症 (B) () ()
 (7) その他

4) 神経ブロック	到達レベル	症例数	指導医判定
(1) 三叉神経節ブロック	(B)	()	()
(2) 眼神経ブロック	(B)	()	()
(3) 上顎神経ブロック	(B)	()	()
(4) 下顎神経ブロック	(A)	()	()
(5) 眼窩上神経ブロック	(A)	()	()
(6) 眼窩下神経ブロック	(A)	()	()
(7) 舌神経ブロック	(B)	()	()
(8) おとがい神経ブロック	(A)	()	()
(9) 耳介側頭神経ブロック	(B)	()	()
(10) 顔面神経ブロック	(B)	()	()
(11) 舌咽神経ブロック	(B)	()	()
(12) 副神経ブロック	(B)	()	()
(13) 後頭神経ブロック	(A)	()	()
(14) 浅頸神経叢ブロック	(A)	()	()
(15) 深頸神経叢ブロック	(B)	()	()
(16) 横隔神経ブロック	(B)	()	()
(17) 肩甲上神経ブロック	(A)	()	()
(18) 腕神経叢ブロック	(A)	()	()
(19) 腋窩神経ブロック	(A)	()	()
(20) 筋皮神経ブロック	(B)	()	()
(21) 橈骨神経ブロック	(B)	()	()
(22) 正中神経ブロック	(B)	()	()
(23) 尺骨神経ブロック	(A)	()	()
(24) 肋間神経ブロック	(A)	()	()
(25) 坐骨神経ブロック	(A)	()	()

- (26) 外側大腿皮神経ブロック (A) () ()
- (27) 大腿神経ブロック (B) () ()
- (28) 閉鎖神経ブロック (B) () ()
- (29) 頸部硬膜外ブロック (A) () ()
- (30) 胸部硬膜外ブロック (A) () ()
- (31) 腰部硬膜外ブロック (A) () ()
- (32) 仙骨部硬膜外ブロック (A) () ()
(仙骨ブロック)
- (33) 星状神経節ブロック (A) () ()
- (34) 蝶形口蓋神経節ブロック (B) () ()
- (35) 胸部交感神経節ブロック (B) () ()
- (36) 腰部交感神経節ブロック (A) () ()
- (37) 腹腔神経叢ブロック (A) () ()
(内臓神経ブロック)
- (38) 椎間関節ブロック (A) () ()
- (39) 大腰筋筋溝ブロック (B) () ()
- (40) 下腸間膜動脈神経叢ブロック (B) () ()
- (41) 上下腹神経叢ブロック (B) () ()
- (42) 経仙骨神経ブロック (B) () ()
- (43) 局所静脈内交感神経ブロック (B) () ()
- (44) 神経根ブロック (A) () ()
- (45) くも膜下脊髄神経ブロック (A) () ()
- (46) トータルスピナルブロック (B) () ()
- (47) トリガーポイント注射 (A) () ()
- (48) ボツリヌス療法 (B) () ()
- (49) 関節内注入 (A) () ()
- (50) 腰椎椎間板内加圧注射など (B) () ()
- (51) 硬膜外自家血パッチ (A) () ()
- (52) その他

5) 薬物療法	到達レベル	症例数	指導医判定
(1) 非ステロイド性抗炎症薬	(A)	()	()
(2) 抗うつ薬	(A)	()	()
(3) 抗痙攣薬	(A)	()	()
(4) 筋弛緩薬	(A)	()	()
(5) 麻薬性鎮痛薬			
① リン酸コデイン	(A)	()	()
② 塩酸モルヒネ	(A)	()	()
③ 硫酸モルヒネ徐放錠	(A)	()	()
④ フェンタニル	(A)	()	()
⑤ オキシコドン	(A)	()	()
⑥ その他			
(6) 拮抗性鎮痛薬	(A)	()	()
(7) 抗不安薬	(A)	()	()
(8) 睡眠薬	(A)	()	()
(9) セロトニン受容体作動型	(A)	()	()
片頭痛治療薬			
(10) 血管拡張薬	(A)	()	()
(11) 漢方薬	(B)	()	()
(12) その他			

6) 理学療法

A. 物理療法	到達レベル	症例数	指導医判定
(1) 温熱療法	(B)	()	()
(2) 冷却療法	(B)	()	()
(3) 光線療法	(B)	()	()
(4) 低周波刺激療法	(B)	()	()
(5) 鍼治療	(B)	()	()

(6) 牽引療法 (B) () ()

(7) その他

B. 運動療法 (B) () ()

C. 作業療法 (B) () ()

D. 自立訓練 (B) () ()

7) インターベンショナル療法 到達レベル 症例数 指導医判定

(1) 脊髄刺激電極埋め込み術 (B) () ()

(2) 高周波熱凝固法 (B) () ()

(3) エピドラスコピー (B) () ()

(4) 経皮的椎体形成術 (B) () ()

(5) 経皮的骨髄減圧術 (B) () ()

(6) 胸腔鏡下胸部交感神経切除術 (B) () ()

(7) 経皮的髓核摘出術 (B) () ()

(8) その他

8) その他 到達レベル 症例数 指導医判定

(1) イオントフォレーシス (B) () ()

(2) 外科療法 (B) () ()

(3) 心理療法 (B) () ()